

町長所信

(要約)

4月に開設した小学校、保育園を先の行政常任委員会で視察いただきました。小中一貫教育も少しずつ軌道に乗り、進んでいるようです。また、懸案の健康管

理センターですが、施設の調査及び不動産鑑定評価業務を終え、間もなく民間払い下げの公募に入る予定です。

海部病院用地の造成工事ですが、現在、用地交渉の最後の段階にきています。これがまとまり次第、果が工事発注手続きを開始することとなっています。この工事を手始めに、その後病

院アクセスの県道工事、牟岐バイパス建設工事が続きます。間違いなく当分の間は工事量の増加と交流人口の増加が見込まれます。

これを機に建設業だけでなく、商業など他の産業の活性化、ひいては新しい施設を目玉とした観光関連産業の活性化にも力を入れていきたいと考えています。

皆さんもご承知のとおり、牟岐町の産業は毎年のように右肩下がりで推移しています。急激な過疎化と漁業を中心とした一次産業の低迷が原因ですが、必要な雇用の場を何とか二次、三次産業でカバーできないかと、今年の1月より有志の方の参加により、毎月第2・第4水曜日午後7時から牟岐町再生会議を開催し、活性化策の模索を続けています。できるだけ多くの若者に参加いただき、自分たちの町の将来を真剣に議論していただきたいと思います。

今、無農薬リンゴで有名な木村秋則さんを映画化した「奇跡のリンゴ」が上映されています。周囲の人に

絶対不可能とバカにされながら、周囲に害虫の害が及ぶと叱られながら、信念を曲げずに一途にリンゴの無農薬・無施肥栽培にかけ、不可能を可能にした男と家族の物語です。

果、20年たった現在では、村の人口が2倍になり、フランスのオーガニック村と評判になっています。無駄で陳腐な取り組みもございませんが、今後とも再生を諦めず、皆さんが一丸となれるような取り組みを進めていきたいと思っておりますので、ご指導ご協力のほど、よろしく申し上げます。

6月定例議会の

議案の内容と審議

定例議会が6月14日から18日まで開かれました。開会日には福井町長が所信表明を行い、繰越計算書の報告、条例改正案、補正予算案などの提案説明を行いました。

再開日には5名の議員が一般質問に立ち、物産館千年サンゴの里、地籍調査の取り組み、病院用地造成に伴う土砂の運搬、津波対策、活性化基金制度、などについて論議されました。

そして、町長提出の報告1件を承認、条例改正案などの議案7件を可決しました。



学校給食センター起工式